



春闌成果、女性のつどいの報告も

また、8日の講演のテーマにもなっていいた、「働き方改革」についても活発な議論が交わされました。特に、長時間労働対策については、「終業の音楽が

ているのでは」というご指摘を頂きました。特に長時間労働が常態化している状態では、「好きで働くことの何が悪いのか」という反論もおきがちです。

この点については、長時間労働が常態化すると組織が均一化してしまい、新しい発想も生まれにくいため、うてメリットが生じるという仕組みをご解説頂きました。その上で長時間労働対策が進まないままでは、世

会議では常任委員、各地連から2017年春闘で特に女性に関わる成果について報告されました。また、各労組で抱えている女性の問題についても発言がありました。特に女性の労働環境について、会社との認識の違いや、男女比率の偏り、また、育児補助など、会社

7月8日(土)に東京・民放労連本部の会議室で、民放労連女性協拠大常任委員会が開かれました。会議には全国の地連の女性メンバー、労連本部から一六人が参加しました。

女性協拡大常任委員会 「メディアの 働き方改革」は?

から具体的な制度を勝ち取った例について、獲得に至った経緯などが共有されました。

手されました。その後、ジャーナリストの白河桃子さんをお招きし、「メディアの『働き方改革』無理」とあきらめていませんか?」と題したお話を頂きました。

鳴るが解決になつていない」 「管理職が休日出勤でカバーしてしのいでいるため、管理職に上がるのが早まるのではないかなどの懸念が

間とのかい離が起き、「ニュースをどうえられなくな
り、時代に遅れていってしまった」という、メディアと
しては致命的な問題点を抱

にし、「働き方改革は無理なのでは?」と考えてしまいがちですが、「より魅力的なメディアにする」という目標を明確にしていくこ

うさぎ

女性協議会

●女性協
U R L
[http://www.
minporoen.
jp.
/women/index.
html](http://www.minporoen.jp/women/index.html)

「新しい発想を生み出す」「ニュースを幅広くキャッチする」ためにも、長時間労働対策に取り組むべきと提案がありました。